

暑中見舞いを届けるあおぞらカフェを開催しました！



暑中見舞いでつながる心 地域と病院を結ぶ「あおぞらカフェ」

七月二十六日（土）、第十回目となる「あおぞらカフェ」を開催しました！真夏の暑さにもかかわらず、なんと過去最多の百二十六名もの方にご参加いただき、会場は笑顔と活気でいっぱい。地域と病院がつながるこのお祭りが、ますます大きな輪になってきているのを感じました。

今回のテーマは「暑中見舞いを届けよう」。参加者の皆さんが心を込めて描いたり書いたりした暑中見舞いは、合計百十三枚になりました。「まだ会ったことのない誰かへ」と想いを込めたカードは、病棟や外来に掲示され、患者さんや地域の方が手に取ってお持ち帰りいただけるようになっていきます。実際に受け取った方からは「この絵、すごく個性的でいいね」「夏らしくて元気が出る」といった嬉しい声も届いています。ぜひ皆様もご覧いただきお受け取りください。訪問診療の患者さんには医師やスタッフが直接お届けし、小さな交流が大きな笑顔につながりました。

更に、ステージは過去最多の出演数となり、大いに盛り上がりました。地域住民石原さんによる司会、当院スタッフによるダンスで元氣よくスタート。リハビリスタッフによるギターの弾き語り、フラワーツリーさんのウクレレ演奏、東泉小学校に関わるグループTOB48によるギターバンド演奏で盛り上がり。最後にはおなじみ、当院の多職種による楽器演奏会にて「ふるさと」を演奏し、全員で合唱。さらに地域の方が手話で表現を添えてくださり、会場がひとつになった瞬間は感動的でした。

他にも、前回に引き続き、リハビリスタッフによる「歩き方お悩み相談」を実施。杖やシルバークーの調整、歩行のチェックなど、日常生活に役立つアドバイスが好評を博しました。また、夏休みらしい企画として、調剤喫茶さんによるかき氷の振る舞い、水風船づくり、缶バッジ・うちわ製作、似顔絵セラピーも実施。ご近所の就労継続支援B型事業所「耕房輝」さんもお菓子の販売に来てくださいました。

子どもからご年配の方まで、幅広い世代が思い思いに楽しむ姿があちこちで見られ、会場には笑顔が絶えませんでした。

そして、今回初の試みとして台東区と荒川区の「サマーボランティアスクール」の受け入れも実施。夏休み中の小中学生がボランティアとして元気いっぱいに活躍してくれました。世代を超えた交流の場となりました。

回を重ねるごとに参加者が増え、内容も充実していくあおぞらカフェ。次回は十二月二十日（土）に開催予定です。皆さまのご参加を心よりお待ちしております！

最後に、運営に携わってくださった方々、当日ご参加された皆さま、いつも支えてくださるすべての方々に、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました！

どうぜんの人々 No.8

このコーナーでは、同善会にかかわる人々にインタビューしていきます！今月は、七月にご入職された本多さやか先生の登場です！



ほんだ
本多さやか先生

- ① 出生地 愛媛県
- ② 趣味 イラストを描くこと（最近は子どもと絵しりと）
- ③ 最近楽しかったこと 東京ドームでホームランを見て、元気をもらいました！
- ④ 同善の良いところ 「みのるーむ」や「あおぞらカフェ」など地域の方々と交流できる機会がたくさんあること
- ⑤ 地域の皆さんにメッセージ 元気なときも、ちょっと不安なときも。ぜひ気軽に声をかけてください。

閲覧ありがとうございました

